



日刊 發行兼編輯人 川崎文治 印刷所 常盤毎日印刷所

定一部金貳錢 廣五錢十三 休日曜大祭 一福島縣石城郡平町長橋町三五
價一月五十五錢 料告字詰一行 刊日曜日 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番
郵税五錢 料五十五錢 刊日曜日 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

刊夕日一廿月七

感想 寄書

大倉邦彦 東京市日本橋區一丁目二ノ五

境遇は心を動かし、心亦境遇を動かす × (七)
一切の生物、無生物は極小分子の無數の組合せからなる其の極小分子は生命力と發展性を持つて居る。此の極小分子の極限概念は真空概念であらねばならぬ。佛教の所謂真空妙有も無常も平等も、此の意味であらう ×
結果と思ふのは結果ではなく次の原因である。かくして無極に聯關する人間は此

の中に生存して。笑つたり泣いたりして居る。

顔さへ見れば、教へる態度を取りたがる教育者がある。眞の教育は人格の交換から生れる事を知らずに居る ×

宗教家、教育家は熱が原動力である。自ら薪となつて燃えなければならぬ。薪となるには伐られて乾かなければならぬ。根を張り葉を出し度い薪は役立たぬ ×

教へずには居られない傳へずには居られない氣持からせめて宗教、教育、著述、政治だけでも實行してほしい。名利や生活資料は抑も副産物だのに ×

子供は親に似ず、祖父母に似るのがメンデルの法則である。親は子に對して眞の人間たる事をのみ要求して餘は本然の性に從ふべきだ ×
小學校で一番大切な校長は役所への報告で忙殺されて生徒に接しての教育は全く留守だ。是が干渉と劃一教育の弊である。 ×
中等學校卒業後、何の役にも立たない外國語の苦しみから、青年男女を救ひ出し人生に役立つ稽古時間を振り替へたい。外國語は専門に進まんとする者の隨意科にすればよい ×

詩 常盤文藝

鍛冶町 やよひ生

忘れた笠
村のはづれの辻堂に
誰が忘れたかすげの笠
眞赤な紐がなつかしや
富山伊藤と書いてあり
忘れた笠を地蔵様に
誰か被せておきにけり
衣の根元で虫が鳴く
主のちがつたすげ笠は
破れて紐はあせました
村のはづれの辻堂に
置いて忘れたすげ笠の
昔の人がなつかしや

健胃とろろ散
小野常治謹製

無料 検眼 TOKIWAYA

眼鏡.....遠見視力検査表を無代で進呈!!

無料検眼開設致シマシタ
専門眼科醫師擔任

御.....良品廉賣
客.....商品豊富
様.....親切丁寧
本.....即時調整
位.....示度正確
近視 老視 乱視 斜視 遠視

無料検眼券御 眼鏡部 電話三三九
利用下サイ

平町一丁目 常盤屋時計店

子供と親の会話

「コリヤ、あんたの方がくれるお小遣の内から買ってもらいたい物があるわ。嫁に届けてやって下さい。ウレサク、何ちゃや彼や言ふと思ふぢやろか。歳をとると、孫の顔が早く見たくて、オホホホホ。」

「思、数日後のこと。ウレサク、待ちきれなうて又来ませよ。その後の様子は、ムム.....ムム.....オホホホ.....」

「オホホホ.....」

「オホホホ.....」

「オホホホ.....」

和 食卓覆ひは 和久井屋

平町一丁目 電話四〇五番

愈々海水浴のシーズンは來ました

皆さん 是非.....四倉脱衣所組合へ

本年は不況の折柄特に 平、四倉間.....自動車往復.....食券付

一枚 金九十五錢

但し團體の際は特に御相談に應じます

☑期間.....七月十日ヨリ九月十日マデ

申込所 平町田町 初音 電話二二六番

産科婦人科諸博士推薦 良薬 中将湯

子宮病、血の道、ヒステリー、産前産後、浮腫、悪阻、しびれ、月経不順、頭痛、下痢、腰痛、足冷、下血、赤帯、引つり痛、白帯、赤帯、こしけ、血崩、疝氣、感冒

定價 試三日 五分 日用五日 一分 七日 一分 十日 一分 十五日 一分 二十日 一分 一月 一分 三月 一分 半年 一分 一年 一分

販大・京東 堂天順村津 舖本

變更後の電話番號

平局が共電式に改められ

平局の電話は共電式に改めらるゝ為め七百番以上の番號が左記の如く變更となり來月中旬頃より實施の筈

Table with columns for old and new phone numbers and names of businesses. Includes entries like '新番號 加入者' and '舊番號'.

夏期臨時列車

平から四倉へ

Table listing train routes and dates for the summer temporary service between Hirai and Yonokawa.

平署の失業者調査

本日迄に平町に八十名

平警察署にては八月一日現在を以て失業者数を調査すべく目下準備中であるが本日迄の調査に依れば平町の失業者数は約八十名に達して居ると

原審通り

湯本踏切番人

即死者三名を出した石城郡湯本町小名濱街道踏切の列車自動車衝突事件の責任者踏切看守小久四郎(三)は平區裁判所に於て罰金三百圓に處せられ不服で控訴中の處に處され不服で控訴中の處に處せられ不服で控訴中の處に處せられ

平履物商組合 徒弟慰安會

昨日四倉で

平町履物商組合にては昨日廿日組合長木田喜一郎氏發起のもとに四倉海岸に於ては徒弟慰安會を催した當日約八十數名の組合員及徒弟が七台の

蘭市場併合

勿來と植田を

久しく問題となつてゐた植田蘭市場と勿來蘭市場と關係については久の濱養業取

賞品の授與あり

平の如くにて木田組合長より夫々 物マラソン競争の優勝者は左の如くにて木田組合長より夫々

欠食兒童の報告を持寄り

共済委員が対策

石城郡下に於ける不景氣の反映は可憐なる小學兒童にまで及ぼして今や各校を通じて辨當を持たない欠食兒童が益々増加してゆく模様である之が対策に就いては既に先月郡下の各方面委員が夫々調査する事になつてゐたので明廿二日午前九時平町役場會議室にて共済委員會を開き各調査の結果をもたらし報告する筈であるが殊に炭礦地帯の町村には豫像以上に悲惨なものがあるので進んでこれが給食方法も講ずる由尙理事長及理事が任期満了で改選となる

片濱軌道

失効

片濱軌道株式會社發起人總代大谷喜作氏外廿八名が大正十五年十一月六日特許を受けた石城郡江名町から平町に至る軌道は指定の期限迄に工事施工認可申請を爲さないの効力を失つた旨此程鐵道省内務省より發表さる

磐越銀行總會

平町

南町磐越銀行株主總會は廿日午後一時半から同行に於て開會、休業銀行より尙ほ非道程度の銀行なので紛亂を豫想されて居たが出席出席者廿餘名の内大部分は重役派の爲め夫れに壓せられ原案通り可決本年上半期利益金六百七十二圓の内五百圓を法定積立金に残る百七十二圓を後期繰越金に決定重役は全部再選し午後二時散會したと

花合賭博捕らる

平町

搔捕小路吉田廣三郎(三)方で二十日午後七時頃同人及び南町西巻常(三)同伊藤康一(一)大工町黒沼健之助(一)内郷村御野野口忠政(一)飯野村北白土加藤武之助(一)の六名は花合賭博開帳中捕らる

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も



明日のラジオ
廿二日
仙臺家仙
報豫氣天
今晚も明日も北
東の風冬らしい
はつきりしない
お天気です

△前六・二〇 夏期獨逸講
座、第二、武内大造
△前七・〇〇 健康講座
「健康術と觸手療法」第二
回西勝造
△前九・〇〇 料理球立
「スキヤロップとエンド
トマート」西川里子 日
用品値段「雜穀類」
△前一〇・三〇 家庭講座
「夏にふさわしい果物の
冷いのみもの」石黒露雄
△後〇・〇五 講談 未定
伊東陸潮
△後〇・五〇 運動競技
「全國高等專門學校野球
大會東北豫選決勝戰狀況
（仙台市スポーツマン球
場より中継）」
△後二・〇〇 講演「父兄
は暑中休暇を如何に利用

すべきか」谷澤徹
△後五・〇〇 趣味講演
「夏の自然と美」井上康文
△後六・〇〇 子供の時間
少年運動講座「相撲」江見
水蔭
△後六・三〇 水産講座
「蝦蟹類」水産講習所教授
理學博士 寺尾新
△後七・二五 講演「藝術
の醫學的研究」理學博士
藤井秀二
△後八・〇〇 謠曲「未定」
實生重英其他
△後八・四〇 清元「未定」
未定
△後九・〇〇 獨唱と管絃
樂（獨唱）中問文壽、東京
ラヂオオーケストラ指揮
篠原正雄

童謡と唱歌

今晚六時に放送

△夕立こたち
宮原義徳 作歌
佐々木すぐる 作曲
一、夕立こたちあばれんば
しりつばよりでびしやび
しやと、お池の金魚をた
ゝいてる
二、夕立こたちあばれんば
背高のつばの花白合を、
ゆら／＼ゆすぶり折つち
やつた
三、夕立こたちあばれんば
葉つばの蛙をころ／＼と
ころがし落していつちや
つた
△夢の渚
宮原義徳 作歌
杉平秀治 作曲

一、ひさらん／＼なるなみ
よ、ゆめのなぎさのまん
どりん、ねんねの島から
うたごゑも、ほろ／＼お
ぼろにかすみませう
二、ひさらんひさらんなる
なみの、おぼろ／＼の夢
の舟、坊やが寝やうなら
も、いろのお土産のお舟
もしんせませう
△舞踊 検定唱歌集より
一、歌へよ舞へよ手振り合
せ、足どり揃へかくこそ
『蝶よ鳥よ羽袖振りて我
等と共に舞へよ』繰返
し
二、鶯來鳴けホケキヨケキ
ヨと梅が枝こそは汝が宿
『蝶よ鳥よ舞へや歌へ我
にもかせよ羽袖を』繰返
し

笛の音

濱田廣介 作歌
中山晋平 作曲
一、日本よい國夢の國、日
ながの獅子舞ひきこえま
す、町のはづれに鳴る太
鼓、ピーピーピラリと笛
の音
二、坊やもねんねんねむり
ませう、御門の犬も眠さ
うな、ピーピーピラリと
笛の音
△露地の細路
海野厚 作歌
中山晋平 作曲
一、露地の細道通りやんせ
横町のお茶屋へ、お茶買
ひに、露地は夕顔咲きか
／＼、斜にちやんとよけ
通りやんせ
二、露地の細道通りやんせ
横町の酒屋へ酒買ひに、
露地は夕顔咲きか／＼、
斜にちやんとよけ通りや
んせ
△花咲爺さん
北原白秋 作歌
小杉平五郎 作曲
一、花咲爺さん紅頭巾、だ
んだら小袖に紅袴、花咲
爺さんお手に籠、紅緒の
草履で紅脚絆
二、雨降りお月さん

けよう。たつたの下から
ちよつと見たりや、お袖
でお顔をかくして、お
袖はぬれてもほしやかは
く雨降りお月さん雲のか
げ、お馬にゆられてぬれ
て行く
家庭講座
夏期清涼飲料
の衛生に就て
鈴木文平

夏の嗜好物として重要な
部分を占めて居る清涼飲料
は近代生活に於て非常な勢
ひで需要を増加し來たので
あります。然しながらこの
愛用する清涼飲料に對し衛
生上頗る無關心の人が多く
種々懸念すべき健康上の障
害が起ることは遺憾と存じ
飲料選定上の要件に就て一
般の方々のために一言申上
げたいと思ふのであります
變つたライス
西川里子發表
▽材料（五人前）御飯コッ
プ三杯、水コップ四分の
一、鹽少々、バター大匙
三杯、トマトコップ四分
の一
▽調理法 バターを敷いた
器に御飯とトマトを交代に
入れます。一番上と下とは
御飯になる様にして重ねま
す。厚さはお好みトマトの
生の時は熱湯をかけ軟かく
して皮をむきやすく切つて
用ひます。そして重ねます
時トマトの上にバターを點

野口雨情 作歌
中山晋平 作曲
一、雨降りお月さん雲の蔭
お嫁に行く時誰と行く、
一人で傘さして行く、傘
のないとき誰と行く、シ
ヤラシヤラーシヤンシ
ヤン鈴つけた、お馬にゆ
られてぬれて行く
二、急がにやお馬よ夜が明

々ど所々に固めて置きます
次に一番上の御飯に鹽をふ
りかけ水を御飯とひた／＼
になる迄入れ御飯が水を吸
ひ取る迄約四十分間位天火
に入れて焼きます。天火は
中位の火加減で宜しう御座
います。注意御飯が柔かい
時は水をひかへます

看護婦急派
の求めに應じ
ます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

理想的耐水耐熱接合劑
キングパスト
○水が微温湯で溶せばすぐ
使へる簡単な接着劑
一名コナニカワ
○四季を通じ一度ついたら
膠着力は絶對的です
○理想的完全耐水耐熱の可
驚威力を發揮し防腐の効
果著し

小野屋藥店
電話一四四番

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡迴文庫
電話六三〇番
（申込次第規則書進呈）

鶴印特製最中
大鶴屋藥店
番四〇七話電 下園公町平
小店員募集

夏服
輕快で瀟洒な夏服の
季節となりました
スマートな今年度の
新製品が豊富に
取揃ひました
輕装上衣
黒セル4.20ヨリ
カシミヤ
10.00ヨリ
白直衣
1.60ヨリ
白づぼん
.60ヨリ
平二あかや洋服店 電203

消費節約
本品質家庭染料
みやこ染
平町一丁目
特約店 大平屋藥店
電六四二番

專門 內科一般

宅診 內科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五(元大和田耳鼻科跡)

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女 醫 川井安子
電話 七二二二番

移轉廣告

店舗改築中三丁目横町、藤市蒲鉾店向へ一時移轉致しました
移轉中大特賣

夏トロンビ 大見切
合着セビロ 六十錢
小學生通學服 五十錢
夏トロンビ 七圓五十錢
黒セル上着 四圓五十錢
鼠セル上着 三圓八十錢
男女ゴム引マン 一圓十五錢



正札堂洋服店

◆中學生通學服、小學生學服特賣
平町三丁目通
假營業所

タクシ一の御用命は

何卒 昭和タクシ一へ

.....(料 金 低 廉).....
平 驛 前

電三四三番

淋病

腸虫病
十二指

梅毒

皮膚病
婦人病

門 專

院 醫 科 腸 胃 性 村 松
(七〇一話電町南平)

全 遠 藤 六

喫茶部新設

取消廣告 昭和五年五月
八日發行はき新報掲載記
事「心細い齒科醫書々木
金太郎の病態」と題した記
事は事實相違の點之有候間
右取消候也
(平町白銀町はき新報社)

三體 體 體
三體 體 體
三體 體 體

内羅專門妙藥
愛馬散
小野屋藥店

貨屋廣告

平町三丁目二八番地
元鈴木はき物店
二階建土藏店、勝手、座敷、倉庫
其他附屬一切
右御希望の方は當方へ御來談下さい
鈴木宅

開業廣告

今般共融社ヲ設立左ノ業務ヲ取扱ヘマ
スニ付御用命ヲ希上マス
金融、土地建物、電話其他ノ仲介、
貸金の取立及賣掛代金整理
.....
家出人ノ捜査婚姻其他ノ身本内偵
本社 石城郡平町字十五丁目十二番地
元平警察署刑事係部長
主幹 青田保太
電話(呼出)八〇四番

セメント
壁用材料
コーラタール
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目(電三)

久能木式石油コンロ

▲燃料經濟日本一 ▲今が需要最好期
部分品附屬品修理修繕 平町
御一報次第貨物持參 城山 吉田藥舖

手藝夏期講習會

一、講習科目
佛蘭西刺繡科 リボン細工科
ドロンウワーク科 リボン刺繡科
カットウワーク科 毛糸編物ノ研究科
リボンアドト科 マクラメレース科
フライヤー刺繡科 折紙及水引ノカケ方
千草糸編物科 染色科
フレチフラワー科

以上の外希望に依り「區限刺しゅう」「クレープ細工及クレープ」の摘み細工レース編物、子供婦人製帽毛糸刺しゅう、ピース刺しゅう」等も講習することを得

一、講 習 料
金壹圓五十錢也 希望の科全部を兼修せらるゝも講習料は別に頂きません

二、會 場
平陽女學校 石城郡平町

三、會 期
八月一日より八月五日迄五日間(毎日午前八時より午後三時迄)

四、申 込 期 限
可成七月廿五日迄御申込下さい、但し講習開始當日迄にても差支ありません

六、證 書
講習終了者には講習證書を授與いたします
講習開始の當日は各科の製品見本を陳列いたしますから篤と御覽を願ひ然る上に於て選定せらるゝも差支ありません

主催 平陽女學校
電話四四五番(振替仙台五六八二番)

木村外科醫院

花柳病專門
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話 三〇九番